

北森鴻 著作一覧

□ 初期の執筆歴・応募歴・受賞歴（●は刊行されたもの）

- 1992 『仮面の遺書』 1993年4月光文社文庫 鮎川哲也編アンソロジー「本格推理 ①新しい挑戦者たち」 / 2006年6月 光文社カッパ・ノベルス「パンドラ'Sボックス」 トリックは「アストロ倶楽部の事件ノート」原作用に考えていたもの。
- 1993 「瓦礫のアリス」 ジャンプノベルス三次選考で落選 200枚のジュブナイル
- 1993 『狂斎幽霊画考』 第33回オール讀物推理小説新人賞応募 狂乱廿四孝の原型 2001年8号角川文庫 解説 西上心太
- 1993 「奇跡の花の下にて…」 第1回松本清張賞三次選考『花の下にて春死なむ』原型
- 1994 『踊る警官』 1995年12月「孤島の殺人鬼 本格推理マガジン」所収 2006年6月光文社カッパ・ノベルス「パンドラ'Sボックス」
- 1994 題名不詳 第1回小説現代推理新人賞応募 『狐罨』の原型200枚
- 1995 『狂乱廿四孝』 1995年9月 東京創元社/2001年8号角川文庫 解説 西上心太 2016年10月 創元推理文庫 解説 浅野里沙子 1995年5月、第6回鮎川哲也賞受賞。角川文庫版に「狂斎幽霊画考」を収録
- 1995 「聖域迷図」 鮎川賞受賞後書き下ろし①「正真正銘の駄作（本人）」につきボツ
- 1995 『花の下にて春死なむ』 鮎川哲也賞受賞第一作 創元推理⑩1995年秋号掲載
- 1995 『メビウス・レター』 受賞後書き下ろし②
- 1995 『冥府神の産声』 受賞後書き下ろし③
- 1996 『狐罨』 受賞後書き下ろし④ 仮題「目利き殺し」
- 1996 『無残絵の男』 小説宝石1996年7月号掲載
- 1996 『ちあき電腦探てい社』 小学館の小学三年生に連載されたジュブナイル

○香菜里屋シリーズ 三軒茶屋のビアバー『香菜里屋』工藤哲也

- 花の下にて春死なむ（1998年11月講談社 / 2001年12月講談社文庫 解説 郷原宏 2016年6月 日本推理作家協会賞受賞作全集95 双葉文庫 解説 愛川晶）
 - 花の下にて春死なむ 創元推理⑩ 1995年秋号
 - 家族写真 創元推理⑮ 1996年冬号 「ポートレート」を改題
 - 終の棲み家 書き下ろし（1998年夏頃？）
 - 殺人者の赤い手 オール讀物 1997年11月号
 - 七皿は多すぎる 創元推理⑬ 1996年夏号
 - 魚の交わり 書き下ろし（1998年夏頃？）

※ 1994年の第1回松本清張賞の第二次審査を通過した19 篇のひとつ、新道研治名義の『奇跡の花の下にて…』（「文学賞の世界 松本清張賞受賞作候補作一覧」を参照）は、原稿が現存しないので断定できないが、『花の下にて春死なむ』の原型と考えられる。（「パンドラ'sボックス」86ページの“松本清張賞へ応募”という記述や、『花の下にて春死なむ』講談社文庫版29ページの“奇跡の花の下で無名の俳人逝く”というくだりから）

- 桜宵（2003年4月 講談社 / 2006年4月 講談社文庫 解説 小柳治宣）
 - 十五周年 IN☆POCKET 2002年1月号
 - 桜宵 IN☆POCKET 2002年4月号
 - 犬のお告げ IN☆POCKET 2002年7月号
 - 旅人の真実 IN☆POCKET 2002年11月号
 - 約束 IN☆POCKET 2003年1月号

- 螢坂 (2004年9月 講談社 / 2007年9月 講談社文庫 解説 村上貴史)
 - 螢坂 IN☆POCKET 2003年6月号 「螢坂原景」を改題
 - 猫に恩返し IN☆POCKET 2003年10月号
 - 雪待人 IN☆POCKET 2004年1月号
 - 双貌 IN☆POCKET 2004年5月号
 - 孤拳 IN☆POCKET 2004年7月号

- 香菜里屋を知っていますか (2007年11月講談社/2011年4月講談社文庫 解説中島駈)
 - ラストマティーニ IN☆POCKET 2006年8月号
 - プレジール IN☆POCKET 2006年12月号
 - 背表紙の友 IN☆POCKET 2007年2月号
 - 終幕の風景 IN☆POCKET 2007年6月号
 - 香菜里屋を知っていますか 書き下ろし (2007年夏頃)

※ 文庫版には、香菜里屋の最終章(後日譚?)を書き下ろしで収録する予定だったが、急逝のため叶わず、そのスペースに絶筆の「双獣記 (KENZAN! Vol.7 ~10に連載、未完)」を収録。(浅野里沙子氏の講演「北森鴻の足跡」から)

◎香菜里屋シリーズ 韓国語版 出版: 피니스 아프리카에 (フィニス アフリカ)

- 꽃 아래 봄에 죽기를 (花の下にて春死なむ) 2012年5月1日
- 벚꽃 흩날리는 밤 (桜宵) 2014年3月20日
- 반딧불 언덕 (螢坂) 2015年1月10日



꽃 아래 봄에 죽기를



벚꽃 흩날리는 밤



반딧불 언덕

○旗師・冬狐堂シリーズ 旗師 宇佐見陶子

- 狐罨 (1997年5月 講談社 / 2000年5月 講談社文庫 解説 千街晶之) 書き下ろし箱書き (プロット) 原案が完成したのは1996年5月頃で、仮題は「目引き殺し」
- 狐闇 (2002年5月 講談社 / 2005年5月 講談社文庫 解説 野間美由紀)
 - 初出: 学芸通信社の配信により、愛媛新聞2000年10月25日~2001年7月4日連載以降、岩手日報、静岡新聞、南日本新聞、山口新聞等に順次連載。

■ 緋友禅 (2003年1月 文藝春秋 / 2006年1月 文春文庫)

陶鬼	オール讀物	2001年7月号
「永久笑み」の少女	オール讀物	2001年12月号
緋友禅	オール讀物	2002年5月号
奇縁円空	別冊文藝春秋	2002年9月号、11月号

■ 瑠璃の契り (2005年1月 文藝春秋 / 2008年1月 文春文庫 解説 佐藤俊樹)

倣雛心中	オール讀物	2004年3月号
苦い狐	オール讀物	2003年7月号
瑠璃の契り	オール讀物	2003年11月号 「瑠璃の契」を改題
黒髪のクピド	オール讀物	2004年8月号、9月号

□ 狐狩 (構想のみ。書き下ろしで講談社から出版の予定だった)

土佐の絵金祭り (高知県香南市赤岡町) の絵師金蔵、通称「絵金」をモチーフに冬狐堂シリーズとして執筆の予定だったが、北森鴻のパソコンには「南国特有の夕暮れだった。ねっとり肌と絡みつく暑気が幾層にも重なり、人も犬も猫もそこで溺れるように歩いている」の一節が残るのみ。(福田美知子氏の追悼文から)

○蓮丈那智フィールドファイル 東敬大学准教授 蓮丈那智、内藤三國

■ 凶笑面 蓮丈那智フィールドファイルI

(2000年5月 新潮社 / 2003年2月 新潮文庫 解説 法月綸太郎)

鬼封会 (きふうえ)	小説新潮	1998年5月号
凶笑面 (きょうしょうめん)	小説新潮	1998年9月号
不帰屋 (かえらざるや)	小説新潮	1999年3月号
双死神 (そうししん)	小説新潮	1999年10月号
邪宗仏 (じゃしゅうぶつ)	小説新潮	2000年4月号

■ 触身仏 蓮丈那智フィールドファイルII

(2002年8月新潮社 / 2005年8月新潮文庫 解説 田中貴子)

秘供養 (ひくよう)	小説新潮	2001年3月号
大黒闇 (だいこくやみ)	小説新潮	2001年6月号
死満瓊 (しのみつるたま)	小説新潮	2001年10月号
触身仏 (しょくしんぶつ)	小説新潮	2002年2月号
御蔭講 (おかげこう)	小説新潮	2002年8月号

■ 写楽・考 蓮丈那智フィールドファイルIII

(2005年8月新潮社 / 2008年2月新潮文庫 解説 村上貴史)

憑代忌 (よりしろき)	小説新潮	2003年10月号
湖底祀 (みなそこのまつり)	小説新潮	2004年2月号
棄神祭 (きじんさい)	小説新潮	2004年4月号 「棄神火」を改題
写楽・考 (しゃらくこう)	小説新潮	2004年12月号 「黒絵師」を改題

□ 天鬼越 (もしくは三蛇参) TVドラマ用オリジナル・プロット 2006年頃

フジテレビ系列のドラマ「凶笑面」のシリーズ続編用に書き下ろしたオリジナル・プロット。これを元に2014年に浅野里沙子が「天鬼越」を書き下ろした。(「北森鴻全仕事IV 三軒茶屋幻想」にプロット全文を掲載)

- 邪馬台（やまたい）蓮丈那智フィールドファイルⅣ 「鏡連殺」を改題
 （2011年10月 新潮社 / 2014年2月新潮文庫 解説 千街晶之）
 蓮丈那智シリーズ初の長編。小説新潮2008年10月号から2010年2月号まで「鏡連殺（かがみれんさつ）」として17回掲載、絶筆。残りの第6章5から終章までを浅野里沙子が執筆、完成させ、北森鴻と連名で刊行。

- 天鬼越（あまぎごえ）蓮丈那智フィールドファイルⅤ
 （2014年12月新潮社 / 2016年3月新潮文庫 解説 杉江松恋）
- 鬼無里（きなさ） 小説新潮2005年4月号
 ザ・ベストミステリーズ2006 日本推理作家協会編 講談社
 2006年7月/セブン・ミステリーズ講談社文庫2009年4月
- 奇偶論（きぐうろん） 小説新潮2007年6月号
 本格短編ベスト・セレクション「本格ミステリ08」講談社
 ノベルス2008年6月/見えない殺人カード（本格ミステリ
 08の文庫版）講談社文庫 2012年1月
- 祀人形（まつりひんな） 2014年 浅野里沙子書き下ろし
- 補墮落（ふだらく） 2014年 浅野里沙子書き下ろし
- 天鬼越（あまぎごえ） 2006年頃フジテレビ系列のTVドラマ「凶笑面」のシリーズ
 続編用に書き下ろしたオリジナル・プロット「天鬼越（もしくは三蛇参）」をもとに2014年浅野里沙子が書き下ろし
- 偽蜃絵（にせしんえ） 2014年 浅野里沙子書き下ろし

さらば、美貌の民俗学者。著者急逝から6年、累計27万部の本格ミステリ、奇跡の最終巻！ 残された2編と遺志を継いで書かれた4編を収録。歴史民俗ミステリ、堂々たる終焉。
 （新潮社の文庫版告知から）

○親不孝通りシリーズ かもねぎコンビ 鴨志田鉄樹（テッキ）と根岸球太（キュータ）

- 親不孝通りディテクティブ
 （2001年2月実業之日本社 / 2006年8月講談社文庫 解説 酔鴻思考管理人カズ）
 - セヴンス・ヘヴン 週刊小説 1998年8月21日号
 - 地下街のロビンソン 週刊小説 1999年3月19日号
 - 夏のおでかけ 週刊小説 1999年8月6日号
 - ハードラック・ナイト 週刊小説 1999年11月12日号
 - 親不孝通りディテクティブ 週刊小説 2000年3月10日号
 - センチメンタル・ドライバー 週刊小説 2000年11月24日号
- 親不孝通りラブソディー （2006年10月実業之日本社 / 2008年11月ジョイノベルズ / 2012年1月講談社文庫 解説 近藤史恵）「かも・ねぎ・エンジェル」改題
 - ねぎ① 月刊ジェイ・ノベル 2004年12月号
 - かも① 月刊ジェイ・ノベル 2005年1月号
 - ねぎ② 月刊ジェイ・ノベル 2005年2月
 - かも② 月刊ジェイ・ノベル 2005年3月
 - ねぎ&かも 月刊ジェイ・ノベル 2005年4月
 - 四つのカップ 月刊ジェイ・ノベル 2005年5月
 - 転々 月刊ジェイ・ノベル 2005年6月
 - グッド・バイ！？/エピローグ 月刊ジェイ・ノベル 2006年7月号

○ ^{マイナー}裏 京都シリーズ 有馬次郎、折原けい、水森堅

- 鬼子母神の選択肢 裏京都シリーズの原型作品（新世紀「謎」倶楽部 1998年7月 / 2001年8月角川文庫、パンドラ'Sボックス 2000年6月 / 2007年10月光文社文庫）
- 支那そば館の謎 (2003年7月光文社/2006年7月光文社文庫 解説 大悲閣住職 大林道忠)
 - 不動明王の憂鬱 ジャーロ 2002年冬号
 - 異教徒の晚餐 ジャーロ 2002年春号
 - 鮎躍る夜に ジャーロ 2002年夏号
 - 不如意の人 ジャーロ 2002年秋号
 - 支那そば館の謎 ジャーロ 2003年冬号
 - 居酒屋十兵衛 ジャーロ 2003年春号 「居酒屋」を改題
- ぶぶ漬け伝説の謎 (2006年4月光文社 / 2009年8月光文社文庫 解説 浅野里沙子)
 - 狐狸夢 小説宝石 2003年12月号
 - ぶぶ漬け伝説の謎 小説宝石 2004年5月号
 - 悪縁断ち 小説宝石 2004年10月号
 - 冬の刺客 小説宝石 2005年2月号
 - 興ざめた馬を見よ 小説宝石 2005年11月号
 - 白味噌伝説の謎 小説宝石 2006年1月号

○佐月恭吉シリーズ 絵画修復師 佐月恭吉

- 深淵のガランス (2006年3月 文藝春秋 / 2009年3月 文春文庫 解説 ピーコ)
 - 深淵のガランス 別冊文藝春秋 2004年5、7月号
 - 血色夢 (ちいるのゆめ) 別冊文藝春秋 2005年3、5、7、9月号
 - 凍月 (いてづき) 文庫書き下ろし (2009年1月頃?)
- 虚栄の肖像 (2008年9月 文藝春秋 / 2010年9月10日 文春文庫 解説 愛川晶)
 - 虚栄の肖像 別冊文藝春秋 2007年5月号、7月号、9月号
 - 葡萄と乳房 別冊文藝春秋 2008年1月号、3月号、5月号
 - 秘画師遺聞 単行本書き下ろし (2008年夏頃?)

○その他

- 400字小説「重力の密室」 光文社文庫冊子「文庫のぶんど」62号 (1996年5月) 大密室 (新潮社 1999年6月/新潮文庫 2002年1月) に収録
- 冥府神 (アヌビス) の産声 (1997年4月カッパノベルス / 2000年5月 光文社文庫 解説 愛川晶 / 2008年11月 光文社文庫新装版 解説 杉江松恋)
- メビウス・レター (1998年1月 講談社 / 2001年2月 講談社文庫 解説 愛川晶)
- 闇色のソプラノ (1998年9月 立風書房 / 2002年10月 文春文庫 解説 西上心太)
- メイン・ディッシュ (1999年3月 集英社 / 2002年3月 集英社文庫 解説 千街晶之) 単行本化に際し当初の題名は「アリバイ・レシピ」とされていた。

アペリティフ	単行本書き下ろし (1999年冬頃?)
ストレンジ テイスト	小説すばる 1996年6月号 「予期せぬ食卓」改題
アリバイ レシピ	小説すばる 1996年9月号
キッチン マジック	小説すばる 1997年5月号
バッド テイスト トレイン	小説すばる 1997年8月号
マイ オールド ビターズ	小説すばる 1997年11月号
バレンタイン チャーハン	小説すばる 1998年3月号
ボトル “ダミー”	小説すばる 1998年8月号
サプライジング エッグ	小説すばる 1998年11月号
メイン・ディッシュ	単行本書き下ろし (1999年冬頃?)
特別料理	小説すばる 2002年3月号 (文庫化のための特別編)

■ 屋上物語 (1999年4月 祥伝社ノン・ノベル / 2003年6月 祥伝社文庫 解説 愛川晶)

屋上物語	小説non 1997年11月号 「はじまりの物語」改題
波紋のあとさき	小説non 1998年1月号
SOS・SOS・PHS	小説non 1998年3月号
挑戦者の憂鬱	小説non 1998年5月号
帰れない場所	小説non 1998年7月号
その一日	小説non 1998年9月号
楽園の終わり	小説non 1998年11月号
タクのいる風景	小説non 2001年1月号 ※文庫版にのみ収録

■ パンドラ's ボックス

(2000年6月 光文社カッパ・ノベルス / 2007年10月 光文社文庫 怪説 はざま隆治)

仮面の遺書	本格推理①新しい挑戦者たち 1993年4月 (光文社文庫)
踊る警官	孤島の殺人鬼 本格推理マガジン1995年12月 (光文社文庫)
無残絵の男	小説宝石 1996年7月号
ちあき電脳探てい社	小学三年生 1996年8月、9月号
鬼子母神の選択肢	新世紀「謎」倶楽部1998年7月号角川書店 / 2001年8月号角川文庫
ランチタイムの小悪魔	女性自身 1999年3月9日、16日号
幫間二人羽織	廣作館事件 1999年9月9日 原書房

※ ノベルス収録エッセイ 「作者口上、長編デビュー前後、「狐畏」の頃、あとがき」

※ 文庫収録エッセイ (ノベルス版に加えて 「あれからいろいろありました①～⑤」)

■ 顔のない男 (2000年10月 文藝春秋 / 2003年10月 文春文庫 解説 二階堂黎人)

真実情報	オール讀物 1998年7月号
隠語研究	オール讀物 1998年11月号
墮天使考	オール讀物 1999年4月号
変貌要因	オール讀物 1999年7月号
赤色凶器	オール讀物 1999年11月号
遠景接写	オール讀物 2000年3月号
仮面幻戯	オール讀物 2000年7月号

「プロローグ」「風景1～6」「エピローグ」は書き下ろし (2000年夏頃?)

※ 事件を追う二人の刑事の氏名は、未発表作「聖域迷図」の登場人物と同じ。

■ 蜻蛉始末 (2001年6月 文藝春秋 / 2004年8月 文春文庫)

序～禁門の変・前夜	別冊文藝春秋 2000年夏号 (232号)
東行往生～藤田組旗揚げ	別冊文藝春秋 2000年秋号 (233号)
黒鯉衆争議～新事業	別冊文藝春秋 2001年冬号 (234号)

- 共犯マジック (2001年7月 徳間書店 / 2004年10月 徳間文庫 解説 千街晶之)
- | | | |
|----------|------|---------------------|
| プロローグ、原点 | 問題小説 | 1999年1月号 |
| それからの貌 | 問題小説 | 1999年7月号 |
| 羽化の季節 | 問題小説 | 1999年10月号 |
| 封印迷宮 | 問題小説 | 2000年1月号 |
| さよなら神様 | 問題小説 | 2000年6月号 |
| 六人の謡える乙子 | 問題小説 | 2000年10月号 |
| 共犯マジック | 問題小説 | 2001年2月号 「ナイトメア」を改題 |
- 孔雀狂想曲 雅蘭堂越名集治 (2001年10月集英社 / 2005年1月 集英社文庫 解説 木田元)
- | | | |
|----------------|-------|--------------------|
| ベトナム・ジッポー・1967 | 小説すばる | 1999年5月号 |
| ジャンクカメラ・キッズ | 小説すばる | 1999年9月号 |
| 古九谷焼幻化 | 小説すばる | 2000年2月号 |
| 孔雀狂想曲 | 小説すばる | 2000年5月号 |
| キリコ・キリコ | 小説すばる | 2000年9月号 |
| 幻・風景 | 小説すばる | 2001年2月号 「殺・風景」を改題 |
| 根付け供養 | 小説すばる | 2001年5月号 |
| 人形転生 | 小説すばる | 2001年8月号 |
- 暁の密使 (2006年1月小学館「暁の使徒」を改題 / 2008年9月小学館文庫 解説井家上隆幸)
- | | | |
|-----------|-------|---------|
| 序、第1章 | 文芸ポスト | 2003年春号 |
| 第2章、第3章 | 文芸ポスト | 2003年夏号 |
| 第4章、第5章 | 文芸ポスト | 2003年秋号 |
| 第6章、第7章 | 文芸ポスト | 2004年秋号 |
| 第8章、エピローグ | 文芸ポスト | 2005年春号 |
- 『暁の密使』の続編にあたる作品(仮題『黎明の密使』)を執筆の予定で2009年に韓国取材を行い(未確認)、連載開始の時期を光文社と相談している最中の逝去だった。
(光文社 鈴木一人氏から)
- なぜ絵版師に頼まなかったのか 明治異国助人奔る!
(2008年5月光文社/ 2010年10月光文社文庫 解説千街晶之)
- | | | |
|----------------|------|-----------------|
| なぜ絵版師に頼まなかったのか | ジャー口 | 2006年春号 |
| 九枚目は多すぎる | ジャー口 | 2006年夏号 |
| 人形はなぜ生かされる | ジャー口 | 2006年秋号、2007年冬号 |
| 紅葉夢 | ジャー口 | 2007年春号、夏号 |
| 執事たちの沈黙 | ジャー口 | 2007年秋号、2008年冬号 |
- うさぎ幻化行 (2010年2月 東京創元社、2014年4月 創元推理文庫 解説 西上心太)
ミステリーズ! Vol.14 (2005年12月)～Vol.36 (2009年8月)に23回掲載。
著者が最終校正まで行った最後の完成作品
- ちあき電脳探偵社 (2011年1月 PHP 文芸文庫 解説 芦辺拓)
- 初出は「ちあき電脳探偵社」と題し小学館の小学三年生に「きたもりこう」名義で連載されたジュブナイル。
- | | | |
|------------|-------|------------------------|
| 桜並木とUFO 事件 | 小学三年生 | 1996年4～7月号 |
| 幽霊教室の怪人事件 | 小学三年生 | 1996年8～9月号 「あかずの倉庫」を改題 |
| ちあき誘拐事件 | 小学三年生 | 1996年10～11月号 |
| マジカルパーティー | 小学三年生 | 1996年12月号 |

雪だるまは知っている 小学三年生 1997年1月号
ちあきフォーエバー 小学三年生 1997年2～3月号

○リレーミステリー

- 墮天使殺人事件 第三章「墮天使の来歴」
(新世紀「謎」倶楽部 1999年9月 角川書店 / 2002年5月 角川文庫)
- 前夜祭 第六章「名探偵は誰だ…っけ？」
(新世紀「謎」倶楽部 2000年6月 角川書店)

○アンソロジーへの掲載作品 単行本未収録作品のみ掲載

- 帮間二人羽織 「芦辺拓編 贗作館事件」原書房 1999年9月
- ナマ猫邸事件 「金田一耕助に捧ぐ九つの狂想曲」
2002年5月 角川書店 / 2012年11月 角川文庫
- 急行銀河・1984 「凶鳥の黒影(まがとりのかげ)」虚無への供物刊行40周年記念
中井英夫へ捧げるオマージュ 2004年9月 河出書房新社

○未完作品

- 双蝶闇草子(ふたつちょうやみぞうし)
「KADOKAWA ミステリ」2001～2003年連載/2016年10月創元推理文庫「狂乱廿四孝/双蝶闇草子」に収録 解説 浅野里沙子)
狂乱廿四孝の第二部。KADOKAWA ミステリ誌上に2001年8月号から2003年5月号まで休載をはさみ12回連載も未完のまま中断。北森作品の中で単行本・文庫本を通じて唯一、刊行されていない作品だったが、2016年10月、浅野里沙子の尽力により創元推理文庫から「狂乱廿四孝/双蝶闇草子」として刊行された。
第1幕 KADOKAWA ミステリ 2001年8月号(連載誌の作者あとがき)
第2幕 KADOKAWA ミステリ 2001年9月号
第3幕 KADOKAWA ミステリ 2001年10月号
第4幕 KADOKAWA ミステリ 2001年12月号
第5回 KADOKAWA ミステリ 2002年7月号
第6回 KADOKAWA ミステリ 2002年8月号
第7回 KADOKAWA ミステリ 2002年9月号
第8回 KADOKAWA ミステリ 2002年11月号
第9回 KADOKAWA ミステリ 2003年1月号
第10回 KADOKAWA ミステリ 2003年3月号
第11回 KADOKAWA ミステリ 2003年4月号
第12回 KADOKAWA ミステリ 2003年5月号(この号で休刊のため連載中断)
- 暁英 贗説・鹿鳴館(2010年4月徳間書店 / 2011年3月徳間文庫 解説 杉江松恋)
問題小説 2006年8月号～2010年2月号に「暁英 贗説・ROKUMEIKAN」として隔月連載(全21回、2007年10月号休載)、絶筆を未完のまま刊行。
- 双獣記 (KENZAN! 2008年11月Vol.7～2009年11月Vol.10に連載、絶筆)
2011年4月講談社文庫「香菜里屋を知っていますか」に併録

○未発表の作品、ショートストーリー

○「瓦礫のアリス」 蓮丈那智初登場作品？

『狂乱廿四孝』以前に執筆した200枚のジュブナイル作品。執筆は1993年ころか。ジャンプノベルスに応募するも三次選考で落選。蓮丈那智の設定は「新宿の路上古い師、幻の格闘技「水蓮手」の伝承者、そしてまさかの男性！」である。

また、この作品を300枚に書きのぼして光文社に持ち込んだがボツとなった。原稿データは3.5インチフロッピーディスクに保存したが、行方不明（浅野里沙子談）。（出典「デビューの頃 狂乱廿四孝」「酔鴻思考」掲示板への2005年2月本人投稿から）

●「聖域迷図」 幻の鮎川哲也賞受賞第一作

活字倶楽部2005春号で「鮎川賞受賞後、僕が次に書いたのは、ボツになりましたが山岳ミステリーで、次が本格もの、その次が医療ミステリー、その次は骨董もの…」と述べている山岳ミステリーが本作品である。「真保裕一氏の『ホワイト・アウト』が出版された頃で、トリックは綾辻行人氏の『〇〇館の殺人』に抵触している」「これが正真正銘の駄作（本人談）」、「面白くないですね（編集者）」等の理由でお蔵入りとなったらしい。

『パンドラ's ボックス』光文社文庫版には戒めとして今も原稿を残しているとの記載があるが、現在は浅野里沙子氏が所有しており、2017年9月の「味とめ会」でプロログ部分のコピーが参加者に配布された。1995年書き下ろし（推定）

●「巡礼行 ～岩手山～」 発掘！ 未発表ショート・ストーリー

「北森鴻雑文集」で初公開。ある企画のために連作短編形式で書かれる予定だったショートストーリーの第一作。その後企画が頓挫しこの作品だけが残された。

2004年2月執筆

●「あなたの背中がみたい夜」 未発表ショートストーリー

以下の四作品は、北森さんが湯田温泉在住のシンガーBARU（古賀辰代）に贈った歌詞、ライブ用のショートストーリー等である。

（詳細は北森鴻全仕事Ⅲ「湯田温泉交遊録」を参照）
提供：白松あつ子、BARU（山口市湯田温泉）

◆「Rainbow Shower Tree」補作詞 2th Album「Simply me 2」に収録 2007年

◆「花散らしの雨」作詞 北森鴻、作曲・歌 Baru 6th Album「B」に収録 2009年

◆「あなたの背中がみたい夜」ショート・ストーリー for 芳流庵ライブ 2009年

第1話 出会いがしらのエピソード

第2話 チャーハン・サプライズ

第3話 御衣黄の約束

第4話 あなたの背中がみたい夜

◆トーク用シナリオ原案（仮題：恋の三割打者、スコッチ&レイン） 2009年

□雑文（エッセイ・インタビュー・対談・選評 他）

● 作者のことば 本格推理①「仮面の遺書」冒頭 1993年4月 光文社文庫

● 鮎川哲也賞「受賞の言葉」創元推理⑩1995年秋号 東京創元社

● 鮎川哲也賞受賞者に聞く「ちょっと退屈かな、もう一人殺そうかな、と」

北森鴻×近藤史恵 創元推理⑩1995年秋号 東京創元社

● 「シリーズ 賞と顔」第6回鮎川哲也賞 公募ガイド 1995年10月号

● 新人作家がおもしろい！ 新刊展望11月号 1995年11月号 日本出版販売

● 「狂乱廿四孝まで」孤島の殺人鬼 本格推理マガジン 光文社文庫 1995年12月

- 「長編デビュー前後」に全文引用（パンドラ's ボックス 光文社文庫版）
- 「踊る警官」冒頭の近況 孤島の殺人鬼 本格推理マガジン 光文社文庫 1995年12月
 - 書きかけのエッセイ二題 （仮題）「ドイルの間」「狂乱廿四孝のできるまで」
 - 「オリジナルの地図を」先輩からの言葉 駒澤大学学園通信へ寄稿 1996年4月8日号
 - 『重力の密室』400字小説 光文社文庫の冊子「文庫のぶんこ」1996年5月
 - 長編『目利き殺し』プロット（創作ノート、ストーリー案）1996年5、6月
 - 「新人賞その後」受賞インタビュー 公募ガイド 1996年9月号
 - 「雑芸員のタマゴ」 本 1997年6月号 講談社
 - 著者サイン会場「狐兎」Hoseki Book Center 週刊宝石 1997年7月10日号
 - 著者インタビュー「北森鴻さんに聞く」ダ・カーポ 1997年8月20日号
 - 今、読みたい本 プラス・ワン著者インタビュー 「狐兎」宝石 1997年9月号
 - 「心の師匠Y・Sのこと」ミステリー作家交遊録23 ダ・ヴィンチ 1998年3月号
 - 取材のやり方・資料の集め方 誰も教えてくれなかった① 鳩よ！ 1998年5月号
 - 北森鴻の自筆原稿「今にして思えば…」鳩よ！ 1998年5月号
 - 「師への詫び状 ～あるいは言い訳～」 鮎川哲也読本 1998年9月 原書房
 - 「家出人捜索届け」カーテンコール 小説すばる 1998年11月号 集英社
 - 「連作ミステリーという企み」ただいま執筆中 青春と読書 1999年1月号 集英社
 - クローズアップインタビュー「花の下にて春死なむ」 EQ 1999年3月号 光文社
 - わが心の町「世田谷区三軒茶屋」別冊文藝春秋 1999年春号
 - 私の至福の時「屋上うどんの嗜み方」小説 non 1999年4月号 祥伝社
 - 「コドモの町を逃れて」 青春と読書 1999年4月号 集英社
 - 「密室からの脱出」大密室 新潮社1999年6月 / 新潮文庫 2002年1月
エッセイ「密室からの脱出（400字小説「重力の密室」引用）」を収録
 - 受賞の言葉 第52回日本推理作家協会賞連作及び連作短編集部門
「花の下にて春死なむ」 日本推理作家協会協会報 1997年7月号
 - 男の厨房「鯛のたたきと刺身」三軒茶屋 味とめ オール讀物1999年8月号
 - スペシャル・インタビュー 『墮天使殺人事件』ダ・ヴィンチ1999年10月号
 - シンプルにぜいたくに 小説新潮 1999年10月号巻頭特集
 - 「食にこだわりのミステリー作家たち 北森鴻」ダ・ヴィンチ 2000年2月号
ミステリー-迷宮道案内ナビゲート メディア・ファクトリー
 - 『ル・パスタン』と『食卓の情景』 特集エッセイ 池波正太郎と私
オール讀物 池波正太郎歿十年特集 2000年5月号 文藝春秋
 - 著者のことば パンドラ's ボックス カッパ・ノベルズ 2000年6月
 - 執筆者からのメッセージ 『前夜祭』プランナーの独り言 角川書店 2000年6月
 - 「この世でない」ものとの出会いー藤田庄市『本朝靈域紀行』新潮社波2000年7月号
 - 「嘘つきの独言」TEA TIME 文藝ポスト 2000年夏号 小学館
 - 「今注目の民俗学ミステリー」ダ・ヴィンチ 2000年9月号
ミステリー-迷宮道案内ナビゲート メディア・ファクトリー
 - 「白粥伝説」リンクエッセイ ジャー口創刊号 2000年9月号 光文社
 - 「作り手の責任」 図書 2000年9月 第617号 岩波書店
 - 著者とその本「顔のない男」 新刊展望 2000年12月 日本出版販売
 - Message From Author 「邪宗仏」本格ミステリ01 2001年1月 講談社
 - 過去にない（はずの）トリック「メビウス・レター」
もうひとつのあとがき IN☆POCKET 2001年2月号 講談社
 - 2001円、居酒屋酔眼の旅 21世紀特別企画 オール讀物 2001年2月号
 - 「作家の仕事術」KADOKAWA ミステリ 2001年8月号新連載インタビュー
 - 著者近況『双蝶闇草子①』KADOKAWAミステリ 2001年8月号
 - 「蜻蛉始末」念願の藤田組贖札事件を描く 2001年8月20日付産経新聞朝刊

- 「ミステリ作家新刊インタビュー」 ダ・ヴィンチ 2001年9月号
ミステリー迷宮道案内ナビゲート メディア・ファクトリー
- 「著者をたずねてみました」 共犯マジック 女性セブン 2001年9月6日号
- 著者近況『双蝶闇草子②』 KADOKAWAミステリ 2001年9月号
- 著者近況『双蝶闇草子③』 KADOKAWAミステリ 2001年10月号
- 「懺悔録忍法帖」 風太郎作品の思い出 ダ・ヴィンチ 2001年11月号
- 「ミステリ・プロフェッショナル -才人」 ミステリマガジン 2001年11月号
ミステリアス・ジャム・セッション 村上貴史 早川書房 2004年1月
- Oh!マイアイドル「お父さんの宝物!……?」 小説すばる 2001年11月号
- 気鋭・新鋭 北森鴻さん 骨董や民俗学から紡ぐミステリー
2001年11月30日付読売新聞夕刊
- 著者近況『双蝶闇草子④』 KADOKAWAミステリ 2001年12月号
- たったひとつの手書き作品「花の下にて春死なむ」
もうひとつのあとがき IN☆POCKET 2001年12月号
- 冒頭近日『支那そば館の謎①』 ジャーロ 2002年冬号 光文社
- 「ずいひつ史楽百景 嘘と真実と」 歴史読本 2002年1月号 新人物往来社
- 鍋日和 15人の鍋奉行 オール讀物 2002年2月号
- 冒頭近日『支那そば館の謎②』 ジャーロ 2002年春号 光文社
- 「モデル、ということではなく……」 本 2002年6月号 講談社
- 冒頭近日『支那そば館の謎③』 ジャーロ 2002年夏号
- 著者近況『双蝶闇草子⑤』 KADOKAWAミステリ 2002年7月号
- ナゾの発生現場「川崎市立日本民家園」 オール讀物 2002年7月号
- talking about my heroine 著者インタビュー 狐闇 別冊文藝春秋 2002年7月
- 著者近況『双蝶闇草子⑥』 KADOKAWAミステリ 2002年8月号
- 戯れ言草子 本格ミステリ・クロニクル300 探偵小説研究会編 原書房 2002年9月
- 著者近況『双蝶闇草子⑦』 KADOKAWAミステリ 2002年9月号
- 著者近況『双蝶闇草子⑧』 KADOKAWAミステリ 2002年11月号
- 「鮎川先生からの電話」 本格一筋六十年 思い出の鮎川哲也 追悼 鮎川哲也
山前讓 編 東京創元社 2002年12月
- 著者近況『双蝶闇草子⑨』 KADOKAWAミステリ 2003年1月号
- 著者近況『双蝶闇草子⑩』 KADOKAWAミステリ 2003年3月号
- 著者近況『双蝶闇草子⑪』 KADOKAWAミステリ 2003年4月号
- 著者近況『双蝶闇草子⑫』 KADOKAWAミステリ 2003年5月号
- 筆者登場『暁の使徒①』 文芸ポスト 2003年春号
- 筆者登場『暁の使徒②』 文芸ポスト 2003年夏号
- 筆者登場『暁の使徒③』 文芸ポスト 2003年秋号
- 「短編というお仕事」 マイ・ベスト・ミステリー第5巻「鍵」 2004年2月 日本推理
作家協会編 文藝春秋/マイ・ベスト・ミステリーV 文春文庫 2007年11月
- 「連作ミステリの私的方法論」 ポンツーン 2004年2月号「ミステリーの書き方」
日本推理作家協会編 2010年12月 幻冬社/2015年10月幻冬社文庫
- Message From Author「憑代忌」 本格ミステリ04 2004年7月 講談社
- 筆者登場『暁の使徒④』 文芸ポスト 2004年秋号
- ミステリーズ・バー「香菜里屋へようこそ」 ミステリーズ! 2004年10月号
- 作家100字近況 「悪縁断ち」あとがき 小説宝石 2004年10月号
- 公式サイト「酔鴻思考」 掲示板への投稿 (2004年12月~2005年5月のデータ)
- 作家・文化人が薦める「新日本百景」 オール讀物 2005年1月号
- 作家100字近況 「冬の刺客」あとがき 小説宝石 2005年2月号
- 創作の現場 川崎市 北森鴻 新刊展望 2005年2月

- 地獄もまた、楽しい 本の話「自著を語る」(文藝春秋 WEB サイト) 2005年2月
- 私のデビュー作「10年目の冬孤堂」新刊ニュース 2005年3月
- ※「もう一つのパンドラ's ボックス」 2005年2月18日酔鴻思考掲示板に投稿
- ※「街のこと」リレーエッセイ 日本推理作家協会協会報 2005年3月号 ※同作品
- 筆者登場『暁の使徒 ⑤』 文芸ポスト 2005年春号
- マイバランス SUNDAY NIKKEIα 2005年3月13日付日本経済新聞
- マイ・ヒーロー&ヒロイン「花の慶次 前田慶次郎」 2005年3月30日付読売新聞
- 第58回日本推理作家協会賞選考委員選評 長編及び連作短編集部門 2005年5月
- まだまだ続く壮大なロマンの幕開け「狐闇」 IN☆POCKET 2005年5月号
- 「大人のためのミステリー」作家登場・北森鴻 活字倶楽部 2005年春号 雑草社
- 「私の愛する本格ミステリ」ベスト3 季刊GIALLO 2005年夏号 光文社
「本格ミステリ大賞全選評2001-2010」本格ミステリクラブ編 2010年9月 光文社
- 「対談・騙し騙され時代小説」北森鴻×畠中恵 初出 小説新潮 2005年8月号
「しゃばけ読本」2007年11月10日に収録 新潮社(文庫版には未収録)
- 第59回日本推理作家協会賞選考委員選評 長編及び連作短編集部門 2006年5月
- 防長評論 ミステリー作家 2007年2月5日付毎日新聞山口版
- 「作家の計画・作家の想い」本格ミステリー・ワールド2007 2007年2月 南雲堂
- 「雪盃(ゆきさかずき)」てのひら小説館 2007年3月10日付読売新聞東京版夕刊
- 第60回日本推理作家協会賞選考委員選評 短編部門 2007年5月(受賞作なし)
- 「大人の女性の歌はお嫌いですか」Baru「Simply me 2」ライナーノーツ2007年
- 「香菜里屋の“謎”を解き明かそう」 IN☆POCKET 2007年9月号
- 冬孤堂シリーズ『狐狩』冒頭の一節 2007年頃
- 第17回なぞがたりなばり 北森鴻の「旅とミステリー」参加者へのメッセージ
2007年11月24日 三重県名張市
- Message From Author「奇偶論」本格ミステリ08 2008年2月 講談社
- 第61回日本推理作家協会賞選考委員選評 短編部門 2008年5月
- 「鬼・狂(暁)斎」別冊太陽 河鍋暁斎—奇想の天才絵師 2008年4月 平凡社
- 話題の著者に聞く「虚栄の肖像」 文蔵 PHP文庫 2008年12月号
九割本当のことを書いて、残り一割で大きな嘘をつく
- 「煉瓦街始末」銀座百点 2009年10月号(No659)銀座百点刊行会

□ 文庫解説、帯の惹句

- 愛川晶「黄昏の罫」光文社文庫解説“美少女名探偵降臨” 2000年3月
- 池波正太郎「戦国幻想曲」新潮文庫解説 2000年8月
- 泡坂妻夫「煙の殺意」創元推理文庫帯の推薦文 2001年11月
- 山田風太郎「魔天忍法帖 新版」徳間文庫解説 “フフフの風太郎さん”2002年11月
- 愛川晶「夜宴」光文社文庫解説 “夜宴世界に愛川先生を捜せ” 2003年5月
- 星野之宣「宗像教授伝奇考」第7集 潮漫画文庫解説 2004年7月
- 野間美由紀「パズルゲーム☆はいすくーる」第12巻 白泉社文庫解説 2005年11月
- BARU「Simply me 2」ライナーノーツ「大人の女性の歌はお嫌いですか」2007年
- 浅野里沙子「闇の仕置人無頼控 六道捌きの龍」文庫帯の推薦文
光文社時代小説文庫 2009年8月

■ 講演会 (●は講演録を雑文集に収録、○は講演録が存在しない)

- 全日本大学ミステリ連合大会合宿(講演会ゲスト) 2001年8月 千葉県白子町
- 花園大学連続講演会(ミステリーシンポジウム) 2001年10月13日 京都市
作家が語るミステリーの魅力「ミステリーとバリエーションについて」

- 駒澤大学文学部歴史学科創立75周年記念講演会「私の過去帳」 2004年7月10日
平成16年で75周年を迎えた駒澤大学文学部歴史学科の記念講演会は平成16年7月10日（土）午後1時半より駒澤大学記念講堂において開催され、北森鴻（推理作家・昭和59年卒業生）氏は「わたしの過去帳」と題して、学生時代、博物館学講座での港北ニュータウンにおける民俗調査のエピソードを紹介され、「好きなことなら努力できる」「好きなことを探さない」と在学生へ熱いメッセージを送られました。
- 岩手日報紫波広華会交流セミナー講演会 2005年2月9日 岩手県紫波町 大盛軒
「なぜ銭形平次は神田明神の下にいなけりなかつたのか」
- 第17回なぞがたりなばり 2007年11月24日 三重県名張市武道交流館いきいき
北森鴻の「旅とミステリー」 — 乱歩と香菜里屋の不思議な邂逅 —
- 小郡図書館開館記念講演会「図書館の窓から」
山口市立小郡図書館 2008年11月16日

□ 講師

- 朝日カルチャーセンター新宿教室講師「ミステリーを書く」 2003年7月から1年間

□ 原作の劇画化・ドラマ化

- 「鬼が疾る」画：智中天 白泉社 JETS COMICS 1998年2月
初出 ヤングアニマル 1996年23、24号、1997年7～9号、17号、24号
- 「鬼子母神の選択肢」画：高森夜魚 サスペリアミステリー2003年11月号
「8人の名探偵犯罪調査」 2007年3月 秋田書店
- 「不帰屋」画：渋谷サツキ サスペリアミステリー2004年7月号付録
- 「凶笑面」木村多江主演 TVドラマ原作 2005年9月16日フジテレビ系列放映
- 「花の下にて春死なむ」画：松川祐里子
まんが このミステリーが面白い! ぶんか社 2010年4月号
- 「鬼無里」画：穂実（おみ）あゆこ 秋田書店刊「サスペンス&ミステリー 名探偵大集合編」2013年3月、「恐怖ミステリー傑作集1 悪夢のサイコ犯罪編」2016年8月
- 「本棚食堂」ネギ編（蛭坂「猫に恩返し」）2015年10月27日 NHK-BSプレミアム

□ 番組出演、オフ会参加等

- 公式サイト「酔鴻思考」始動 2004年11月14日
- 桜酔会 in 大悲閣 2005年4月17日
- 涼酔会（酔鴻思考関東オフ会） 2005年7月17日
- 裏寄り合い・お江戸の宴 皐月宵 2006年5月13日
- 「お昼はZENKAI ラヂオな時間」電話インタビュー-KRY 山口放送 2009年3月4日
- 「お昼はZENKAI ラヂオな時間」ゲスト出演 KRY 山口放送 2009年5月6日
- Baru ライブコンサート「あなたの背中がみたい夜」演出補
ショート・ストーリー「あなたの背中がみたい夜」を Baru & 岡本信人が朗読
2009年5月24～25日演出補（山口市芳流庵）、2009年6月30日（日比谷 RUCOLA）
- 大人ウォーク Baru ゲスト出演 FM山口 2009年6月20日
- 大人ウォーク Baru ゲスト出演 FM山口 2009年11月14日

デビュー前(新道研治名義)の執筆、原作等

○「アストロ倶楽部の事件ノート」 ミステリ漫画原作

作画/なるせゆう (現 西山優里子)、原作/ギャグバンク (のち G・B)

中1時代/中2時代 (旺文社) 1990年4月号~1991年3月号に連載。

光文社文庫版「パンドラ'S ボックス」46ページで言及しているミステリ漫画の原作。



掲載作品一覧 (国立国会図書館 国際子ども図書館で「中1時代」を閲覧して確認)

1990年4月号	「さそり座の盲点」
1990年5月号	「顔のない殺人者」
1990年6月号	「ぬれたフォトグラフ」
1990年7月号	「ライブハウス殺人事件」 原作「G・B」名義
1990年8月号	「アリバイの時刻表」
1990年9月号	「聖母像 (マリア) の涙」
1990年10月号	「浮世絵殺人事件」
1990年11月号	「二つの殺意」
1990年12月号	「裏切りの部屋」
1991年1月号	「魔都の殺人者」
1991年2月号	「人形館の惨劇」 (前編)
1991年3月号	「人形館の惨劇」 (後編)

※この号をもって 「中1時代」 廃刊

中1時代 1991年2月号から一部抜粋 画：なるせゆう (西山優里子)

閲覧で確認した事実

- ① ギャグバンク ⇒ G・B ⇒ ジービー (勤めていた編集プロダクションの社名)
- ② 作中で、解決のヒントを与えるのが「NACHI」という謎の占い師。
- ③ 9月号「聖母像の涙」のトリックは「花の下にて春死なむ」と基本同じ。文庫版「パンドラ'sボックス」47ページで「当時使ったトリックを後の小説作品で使い回している」
- ④ 2~3月号「人形館の惨劇」の犯人の名は「新道研治」

●「推理頭脳ゲーム この謎を追え」 ミステリー事件調査室編

青春 BEST 文庫 1994年10月

奥付けに「ミステリー事件調査 STAFF Story 新道研治」と明記されている。なお、イタリック体の作品は「アストロ倶楽部の事件ノート」の作品との類似性が窺える。

1 保険調査員探偵 円長一郎の事件簿

- ①危険山系 ②哲学者の密室死 ③死刑台のエレベーター ④青月荘の六人
⑤岸壁の裁き ⑥フェリーでサヨナラ

2 フリーライター探偵 高宮伽羅の事件簿

- ⑦レインボーブリッジのアリバイ ⑧雨の日の殺意
⑨大阪発 12時00分の憎悪 ⑩酷すぎる死 ⑪顔のない殺人者

3 テレビプロデューサー探偵 沢田次郎の事件簿

- ⑫死を招く戴冠コイン ⑬人形の予言 ⑭大根役者の臭い死
⑮消えたアイドル ⑯月光殺人ソナタ

4 辻占い師探偵 千代田ト斎の事件簿

- ⑰浮世絵殺人事件 ⑱密室講義 ⑲善人のわな ⑳留守番電話はいっぱい
㉑宵祭り殺人事件 ㉒紫陽花は見ていた

5 看護婦探偵 那須寛子の事件簿

- ㉓容疑者が多すぎる ㉔歪な凶器 ㉕大魔術の死体 ㉖おしゃべりな死体
㉗「粹」殺人事件

- 小学館の学習雑誌「小学○年生」への署名記事（国立国会図書館 HP データベースから）
 - ・ 小学六年生 1995 年 3 月号 「臨死体験者が語る死後の世界」文（超科学グラフ「人間は死んだらどうなるのか？」（中）
 - ・ 小学五年生 1995 年 7 月号 「蜃気楼が暴く ピラミッドミステリー」構成・文
 - ・ 小学六年生 1995 年 7 月号 「蜃気楼が暴く ピラミッドミステリー」 同 上
 - ・ 小学五年生 1995 年 9 月号 「4 人の達人が教える夏休みチャレンジ」文
 - ・ 小学三年生 1996 年 2 月号 「とっても！ぷよぷよスペシャル プレゼントつき 探ていクイズ」原作/新道研治 まんが/たちばな真未
 - ・ 小学六年生 1996 年 2 月号 「東京湾横断道路にチャレンジ！」構成・文
 - ・ 小学五年生 1996 年 3 月号 「名探偵コナンの超推理クイズ」構成/文

追悼 北森鴻

■ 追悼文 ほか

- 愛川 晶 「北森鴻さんを偲んで」（①推理作家協会 HP、②小説新潮 2010 年 4 月号）
- 芦辺 拓 「心意気と反骨と」北森鴻氏を偲んで 愛川 晶 「北森鴻さんを偲んで」霧舎 巧 「生意気な後輩より」 ミステリーズ！ Vol.40 東京創元社
- 杉江松恋 「追悼 北森鴻」問題小説 2010 年 3 月号、「暁英 鷹説・鹿鳴館」解説
- 芦辺 拓 「追悼北森鴻 弔電より」、山前譲 「深く、そして広く 北森鴻の世界」追悼北森鴻 小説宝石 2010 年 3 月号
- 近藤史恵 「戦友の逝去に」問題小説 2010 年 3 月号 「追悼 北森鴻」
- 伊井 圭、福田美知子 公式サイト「酔鴻思考」に寄稿
- 憂楽帳 「推理作家の愛した寺」2011 年 5 月 19 日付毎日新聞大阪版夕刊
- 浅野里沙子 「北森鴻の絶筆を書き継いで」 波 2011 年 11 月号 新潮社
- 千街晶之 「作家の死を超えて生き続ける名探偵」波 2015 年 1 月号 新潮社

□ 北森鴻追悼行事 （第 2 回（三回忌）から「酔鴻忌」となる）

- 第 1 回北森鴻忌（一周忌） 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2011 年 1 月 30 日
- 北森鴻を偲ぶ会 東京出版会館（神楽坂） 2011 年 3 月 5 日
- 第 2 回酔鴻忌（三回忌） 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2012 年 1 月 22 日
- 第 3 回酔鴻忌 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2013 年 1 月 27 日
- 第 4 回酔鴻忌 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2014 年 1 月 25 日
- 第 1 回酔鴻会 大悲閣千光寺、四条河原町 2014 年 8 月 29 日
- 第 5 回酔鴻忌 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2015 年 1 月 25 日
- 北森鴻さんを偲んで① 大人ウォーク（FM 山口） 2015 年 4 月 17 日
- 北森鴻さんを偲んで② 大人ウォーク（FM 山口） 2015 年 5 月 15 日
- 第 2 回酔鴻会 味とめ（三軒茶屋） 2015 年 6 月 6 日
- トーク用シナリオ再現 大人ウォーク（FM 山口） 2016 年 1 月 15 日
- 第 6 回酔鴻忌（七回忌） 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2016 年 2 月 7 日
- 北森鴻を偲ぶ会 Café Live Wire（新宿） 2016 年 6 月 8 日
浅野里沙子、杉江松恋、青木大輔（新潮社）によるトークショー
- 第 7 回酔鴻忌 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2017 年 2 月 4 日
- 第 3 回酔鴻会（夏の酔鴻会）ゴールドマンコレクション これぞ暁齋！展（京都伊勢丹）、本家重兵衛（四条烏丸） 2017 年 6 月 18 日、25 日
- Baru2017×北森鴻雑文集 大人ウォーク（FM 山口） 2017 年 8 月 23 日
- 味とめ会 三軒茶屋（18 名参加） 2017 年 9 月 29 日
- 第 8 回酔鴻忌 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2018 年 1 月 28 日
- 第 9 回酔鴻忌（最終回） 大悲閣千光寺（京都嵐山） 2019 年 1 月 27 日

年 譜

1961 (昭和 36 年) 11 月 15 日
下関市小月町で出生
父 新道利夫、母 喜美子

1968 (昭和 43 年) 4 月
下関市立名池小学校に入学

1970 (昭和 45 年)
宇部市立琴芝小学校に転校

1972 (昭和 47 年)
山口市立湯田小学校に転校

1974 (昭和 49 年) 4 月
山口市立湯田中学校に入学

1977 (昭和 52 年) 4 月
宇部フロンティア大学付属
香川高校に入学

1980 (昭和 55 年) 4 月
駒澤大学文学部歴史学科入学
在学中、三軒茶屋の「味とめ」でアルバイト

1984 (昭和 59 年) 3 月
駒澤大学文学部歴史学科卒業

1984 (昭和 59 年) 4 月 編集プロ ギャグバンク (後のジービー) に参加

1995 (平成 7 年) 編集プロ ジービー 退社

9 月 「狂乱廿四孝」で第 6 回鮎川哲也賞受賞

1999 (平成 11 年) 6 月 「花の下にて春死なむ」で第 52 回日本推理作家協会賞短篇及び連作短篇集部門受賞

2001 (平成 13 年) 結婚 (3 年後に協議離婚)

2003 (平成 15 年) 7 月 朝日カルチャーセンター新宿教室で講師 (1 年間)

2006 (平成 18 年) 2 月 川崎市から山口市湯田温泉に転居

2010 (平成 22 年) 1 月 25 日 山口市で死去 享年 48 歳



やまぐち文学回廊構想推進協議会編「やまぐちの文学者たち 増補版」の
北森鴻年譜を参考にしました。